

第 53 期

# 中間事業報告書

自 平成17年10月 1 日

至 平成18年 3 月31日

株式会社 **大森屋**

# 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社の第53期上半期(自平成17年10月1日 至平成18年3月31日)が終了いたしましたので、営業の概況についてご報告申し上げます。

## 営業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、企業収益の改善に伴い民間設備投資も上向きに推移し、雇用環境も改善に向かいつつあり、個人消費につきましても緩やかながら回復傾向が見られるようになりました。

しかしながら、当業界におきましては、消費者マインドの改善は見られず、依然として競争は激しく、店頭での販売価格は低い水準のまま推移するという大変厳しい状況でありました。

原料海苔につきましては、瀬戸内地区ではやや不作であったものの、最大の生産地である九州地区においては天候にも恵まれ漁期全般に亘り順調に生産枚数が上がりました。その結果、平成17年度の海苔生産量は前年を上回り、原料海苔価格も安定いたしました。

このような状況のもと、当社では利益重視の方針を維持しつつ、積極的に売上増強施策を展開し、新製品の開発、経費の更なる削減は勿論、新販路の開拓も含め、全社一丸となった売上目標・利益目標の達成と経営効率の向上に取り組んでまいりました。

新製品につきましては、昨年2月の発売以来好調に推移しております「しじみわかめスープ」の姉妹品として本年2月より発売しました「しじみわかめスープめかぶ入り」は、発売以来ご好評を得ており、また、「お茶漬け亭 新食感」につきましても、これまでにない商品の独自性より、順調に市場から評価を得ております。

経費につきましては、上記「しじみわかめスープ」のテレビコマーシャル等の広告宣伝費を積極的に投入する一方、生産コストの低減、物流費等の削減を図り、販売促進費についても効率的な使用により全社的な経営合理化に努力してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は9,110百万円（前年同期比4.1%増）と増収となりましたが、経常利益につきましては上記広告宣伝費が前年同期に比べ127百万円増加したことにより386百万円（前年同期比11.5%減）となり、中間純利益は、特別損失が前年同期に比べ47百万円減少したことにより224百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

以下、品目別売上高の状況は次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、販売競争が一層激化する中で、販売促進活動に注力するとともに、採算重視の観点から販売施策の効率化を推し進めた結果、売上高は3,332百万円（前年同期比3.0%増）となりました。進物品につきましては、パーソナルギフト、冠婚葬祭等、幅広い販売ルート of 拡充に努めましたが、2,029百万円（前年同期比1.8%減）となりました。ふりかけ等は、「しじみわかめスープ」等の新製品が好調に推移したことなどにより1,626百万円（前年同期比13.1%増）と大幅な増加となり、業務用海苔につきましては、コンビニエンスストア市場の中で、おにぎり、お弁当類が堅調に推移し、そして新規取引先の開拓も加わり、2,094百万円（前年同期比5.7%増）と増加いたしました。

中間配当につきましては、見送らせていただきました。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成18年6月

取締役社長 福野孝治

# 中間貸借対照表 (平成18年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,687,309	流動負債	3,802,509
現金及び預金	552,681	支払手形	341,520
受取手形	53,222	買掛金	524,804
売掛金	2,548,050	短期借入金	1,600,000
たな卸資産	6,316,013	未払金	1,011,955
その他	217,605	未払法人税等	160,000
貸倒引当金	263	賞与引当金	95,474
		その他	68,754
固定資産	3,128,894	固定負債	281,243
有形固定資産	2,466,460	退職給付引当金	278,427
建物	586,738	その他	2,816
土地	1,496,243	負債合計	4,083,752
その他	383,478	(資本の部)	
無形固定資産	68,612	資本金	814,340
投資その他の資産	593,821	資本剰余金	1,043,871
投資有価証券	389,584	資本準備金	1,043,871
会員権	68,300	利益剰余金	6,769,809
その他	175,938	利益準備金	93,500
貸倒引当金	40,000	任意積立金	6,411,747
		役員退職給与積立金	450,000
		特別償却準備金	1,747
		別途積立金	5,960,000
		中間未処分利益	264,562
		株式等評価差額金	116,209
		その他有価証券評価差額金	116,209
		自己株式	11,780
資産合計	12,816,204	資本合計	8,732,451
		負債及び資本合計	12,816,204

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 2,573,774千円  
 3. 担保に供している資産  
     建物 170,436千円  
     土地 147,559千円

# 中間損益計算書 (自 平成17年10月1日 至 平成18年3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
経常損益の部	営業収益		9,110,201
	売上高		
	営業費用		
	売上原価	5,434,751	
	販売費及び一般管理費	3,293,239	8,727,991
	営業利益		382,209
	営業外収益		
	受取利息及び受取配当金	1,925	
	雑収入	3,332	5,257
	営業外費用		
支払利息	1,247		
雑損失	79	1,326	
経常利益		386,140	
特別損益の部	特別利益		
	貸倒引当金戻入益	5	5
	特別損失		
	固定資産売却損	77	
固定資産除却損	160	238	
税引前中間純利益		385,907	
法人税・住民税及び事業税		152,446	
法人税等調整額		9,109	
中間純利益		224,351	
前期繰越利益		40,211	
中間未処分利益		264,562	

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社の概況

(平成18年 3月31日現在)

社名	株式会社 大森屋
設立	昭和30年 3月
主要な事業内容	当社は主として、海苔加工販売を事業とし、これに附帯する業務を営んでおりません。
資本金	814,340,400円
従業員数	188名
主要な事業所	
本社・大阪支店	大阪市福島区野田 4丁目 3番34号
特販部	大阪市此花区西九条 1丁目 1番60号
東京支店	東京都練馬区高野台 2丁目27番17号
福岡工場	福岡県柳川市大和町豊原111
広川工場	福岡県八女郡広川町大字日吉548番16
関西物流センター	兵庫県西宮市山口町阪神流通センター 1丁目93号

## 役員

(平成18年 3月31日現在)

代表取締役社長	稲野幸治
代表取締役副社長	稲野龍平
専務取締役	楠瀬好房
常務取締役	川口良夫
常務取締役	稲野達郎
取締役	菊本幹茂
取締役	松本嘉道
取締役	稲野貴之
常勤監査役	坂江和夫
監査役	村川義夫
監査役	叶智加羅
監査役	北村英嗣

(注) 監査役のうち、叶 智加羅および北村英嗣の両氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

# 株主メモ

決算期	毎年9月30日
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ 公告して定めます。
配当金受領株主 確定日	利益配当金 毎年9月30日 なお、中間配当を実施するときの株 主確定日は、3月31日といたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書を当社 ホームページに掲載しております。 <a href="http://www.ohmoriya.com/">http://www.ohmoriya.com/</a>
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541 8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	電話 ☎ 0120 255 100 株式関係のお手続用紙のご請求は 次の電話番号およびインターネッ トで24時間承っております。 手続用紙請求電話 ☎ 0120 351 465 インターネットホームページ <a href="http://www.daiko-sb.co.jp">http://www.daiko-sb.co.jp</a>
同 取 次 所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

## 株主優待制度に関するご案内

1. 株主優待方法 毎年9月30日現在の株主に対し3,000円  
相当の自社製品を贈呈する。また、毎  
年3月31日現在の株主に対し2,000円相  
当の自社製品を贈呈する。
2. 贈呈基準 所有株式数1,000株以上の株主。

以 上

楠

大森屋